

令和7年度提携事業実施状況

(1) 行政施策の立案及び実施に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和8年3月末日時点）
1	伊勢原市行財政改革推進委員会	企画部 デジタル・行政経営課	政治経済学部 政治学科 小林 隆 教授	市の行財政運営の点検を行い、伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況について意見を述べる。	期日 ①8月29日 ②11月18日 ③1月28日 ④3月24日
					場所 市役所、市民文化会館
					内容 伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況について意見を述べる。
					参加者数 委員8名
成果及び課題 附属機関として行財政運営の点検を行い、評価していただいた。					
2	伊勢原市環境対策審議会	経済環境部 環境対策課	医学部 医学科 基盤診療学系 立道 昌幸 教授	環境基本計画の年度報告書など環境対策に関する重要な事項を調査審議する。	期日 11月13日
					場所 市役所 全員協議会室
					内容 第3次伊勢原市環境基本計画令和6年度報告
					参加者数 8名
成果及び課題 専門的見知から御意見をいただいた。					
3	伊勢原市自殺対策計画推進委員会	保健福祉部 障がい福祉課	医学部 医学科 総合診療学系 山本 賢司 教授	自殺対策計画策定のため、計画推進委員会を開催する。	期日 3月27日
					場所 書面開催
					内容 第2期伊勢原市自殺対策計画の点検評価
					参加者数 ー
成果及び課題 専門的な御意見や御指摘をいただき、計画の点検を行った。					

(2) 保健、福祉及び医療等の推進に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和8年3月末日時点）
1	東海大学医学部附属病院災害医薬品備蓄倉庫見学会	企画部 危機管理課	医学部附属病院 薬剤部 薬剤科	災害時における医薬品の供給に関する協定に基づく災害時医薬品の管理状況を関係者とともに見学を行った。	期 日 10月29日
					場 所 東海大学医学部附属病院地内
					内 容 災害時医薬品管理状況の見学
					参加者数 12名
					成果及び課題 災害時医薬品の家庭備蓄を薬剤師会等と連携していくことを確認した。
2	災害時医薬品の供給業務	企画部 危機管理課	医学部附属病院 薬剤部 薬剤科	災害時における医薬品の供給に関する協定に基づき、災害時医薬品の備蓄・管理を行う。	期 日 通年
					場 所 市内7か所医療救護所
					内 容 災害時医薬品管理及び更新
					参加者数 4名
					成果及び課題 災害時医薬品の是正管理を実施した。
3	救急車同乗実習	消防署 消防管理課	医学部 医学科 総合診療学系 青木 弘道 講師	現場救急医療から院内医療への救命リレーの重要性を学習する。	期 日 5月5日～6月28日
					場 所 伊勢原市消防署本署
					内 容 東海大学医学部6年生が消防署へ当直し、救急車への同乗
					参加者数 東海大学医学部6年生6名 本署 救急隊員
					成果及び課題 病院前救護の現場を自ら経験し、救急隊と病院との連携の重要性を学ぶことができた。
4	伊勢原市派遣型救急ワークステーション	消防署 消防管理課	医学部 医学科 総合診療学系 青木 弘道 講師	救急隊を病院に派遣し救急救命士の再教育を行うとともに、医師同乗で出動し救命率の向上を図る。	期 日 4月14日～3月23日
					場 所 東海大学医学部附属病院高度救命救急センター
					内 容 医師の指導に基づき、救急隊員の病院実習 救急車に医師及び看護師が同乗し、重傷傷病者の救命率向上を図る
					参加者数 救急隊員32名、救命センター医師及び看護師
					成果及び課題 救急隊員の病院実習を行いながら、重傷疑いの傷病者への早期医療介入を行うことができた。

(3) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への名材派遣に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和8年3月末日時点）
1	伊勢原市人権施策推進委員会	市民生活部 人権・広聴相談課	事務部事務課(人事) 桑久保 ひとみ 課長 法学部 法律学科 押久保 倫夫 教授	本市が展開・実施する各種人権施策について、評価・点検等を行い、人権施策の総合的推進を図る。	期 日 ①7月17日 ②9月9日 場 所 ①伊勢原市立子ども科学館 会議室 ②市役所分庁舎(こどもみらいプラザ) 会議室 内 容 伊勢原市人権施策推進指針(改定版)に係る令和6年度の取組に関する点検・評価について 参加者数 ①7名 ②9名 成果及び課題 専門的見地から御意見をいただいた。
2	伊勢原市民文化会館運営審議会	市民生活部 市民協働課 市民文化会館担当	教養学部 芸術学科 檜垣 智也 准教授	改修後の市民文化会館の管理運営について、指定管理者制度の導入の有無や受益者負担の適正化(使用料金の見直し)などの審議を行う。	期 日 ①7月11日 ②10月21日 ③3月24日 場 所 市民文化会館・練習室2 内 容 市民文化会館の管理運営等について審議する。 参加者数 ①7名 ②7名 ③5名 成果及び課題 改修後の市民文化会館の管理運営等について審議を行った。
3	【新規】伊勢原市民文化会館施設改修事業者選定委員会	市民生活部 市民協働課 市民文化会館担当	建築都市学部 建築学科 岩崎 克也 教授 教養学部 芸術学科 檜垣 智也 准教授	市民文化会館施設改修事業を実施する民間事業者について、適切な事業者を選定するにあたり、学識経験者を交え専門的かつ客観的な視点からの検討等を行うため、選定委員会による審議を行う。	期 日 12月3日 場 所 市民文化会館・練習室1 内 容 伊勢原市民文化会館施設改修事業に係る募集要項等について、優先交渉権者選定基準について 等 参加者数 5名 成果及び課題 伊勢原市民文化会館改修事業者の公募に向けた資料の内容についてご意見・助言等を頂き、調整を行った。(12月19日公募済み)
4	伊勢原市清掃美化審議会	経済環境部 清掃リサイクル課	教養学部 人間環境学科 勝田 悟 教授	清掃に関する制度の改善整備及び清掃美化に関する根本的対策を調査審議する。	期 日 7月28日 場 所 市役所 3A会議室 内 容 環境衛生事業の概要、ごみ減量化・資源化施策の見直し(生ごみ処理機器購入費補助事業の見直し、せん定枝粉碎機貸出事業の見直し、資源プラスチックについて) 参加者数 12名 成果及び課題 様々な御意見や御提言をいただいた。
5	伊勢原市在宅医療と介護連携推進会議	保健福祉部 地域福祉推進課	医学部 医学科 総合診療学系 小澤 秀樹 教授 医学部 看護学科 端山 淳子 准教授 医学部付属病院 患者支援センター ^総 合相談室 細金 操 室長	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域における医療と介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護サービスを提供する体制構築を推進するため会議を開催し、課題に対する対策を検討する。	期 日 ①7月30日 ②10月29日 ③2月18日 場 所 市役所 会議室 内 容 在宅医療と介護サービス事業者等との連携に関する協議 参加者数 ①12名 ②16名 ③13名 成果及び課題 専門的な見地から御意見等をいただいた。

6	伊勢原市障害支援区分判定審査会	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント学科 島崎 由宇 助教 医学部 看護学科 伏見 友里 助教	介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定を行う。	<p>期 日 毎月3回(第2金曜日、第1水曜日、第4火曜日)</p> <p>場 所 市役所 会議室</p> <p>内 容 介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定</p> <p>参加者数 5名</p> <p>成果及び課題 専門的な意見、判断をいただき、障害支援区分の判定をすることができた。</p>
7	伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント学科 中越 章乃 講師	障害者及びその家族の個々の事情に即したサービスが提供されているか、また伊勢原市における地域課題や、施策提案等について確認し、協議、検討を行う。	<p>期 日 ①7月4日 ②10月3日 ③2月3日</p> <p>場 所 ①②③市役所 会議室</p> <p>内 容 ・各専門部会からの報告を受け、地域課題や施策提案等について、全体での協議検討 ・障害者計画、障害福祉計画、障害児福祉計画の策定及び点検評価 ・困難事例への対応のあり方について ・その他地域の障害福祉について検討すべき事項</p> <p>参加者数 20名程度(協議内容により変更あり)</p> <p>成果及び課題 各専門部会からの報告及び提案事項等について意見、助言をいただき検討することができた。</p>
8	伊勢原市介護保険運営協議会	保健福祉部長 長寿介護課	健康学部 健康マネジメント学科 岡本 武志 准教授	介護保険事業の運営に関する事項及び地域包括支援センターの運営等に関する事項の審議や高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進行管理を行う。	<p>期 日 ①8月7日②11月20日③2月5日</p> <p>場 所 市役所 2C会議室、3B会議室</p> <p>内 容 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画関連 等</p> <p>参加者数 各回12名程度</p> <p>成果及び課題 専門的見地から介護保険運営についての御意見等をいただいた。</p>
9	伊勢原市介護認定審査会	保健福祉部長 長寿介護課	教育開発研究センター 船水 浩行 教授 医学部 医学科 内科学系 永田 栄一郎 教授 医学部付属病院看護部 西野 隆一 看護師長 医学部付属病院看護部 佐藤 政代 看護師長 医学部付属病院 診療技術部 リハビリテーション技術科 山口 尚子 係長 医学部付属病院 診療技術部 リハビリテーション技術科 市川 毅 係長 教育開発研究センター 渡邊 祐紀 講師 医学部 看護学科 森口 ふさ江 講師 医学部 看護学科 安藤 泰久 助教	介護保険法に規定するもののほか、生活保護法第6条に規定する被保護者であつて40歳以上65歳未満の者に係る審査判定業務を行う。	<p>期 日 【実施済み】89回*原則月10回開催とし、10合議体の審査会のうち、各委員は10合議体のいずれか1つの合議体に所属し、月1回出席する。(審査件数が少ない場合、委員が集まらなかった場合には中止となる)</p> <p>場 所 市役所 公害棟会議室等</p> <p>内 容 介護保険法に基づき、要介護(要支援)認定申請のあった者に対し、認定調査及び主治医意見書から、介護度及び認定有効期間を決定する。</p> <p>参加者数 各回 委員4名、事務局2名</p> <p>成果及び課題 専門的見地から意見等をいただき、各回平均45件程度の要介護認定を決定した。</p>

10	伊勢原市スポーツ推進審議会	保健福祉部 スポーツ課	体育学部 生涯スポーツ学科 野坂 俊弥 教授 医学部 看護学科 榊原 麻弥 助教	市民生涯スポーツ推進基本計画に基づき、市民が主体の生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ活動の推進策などを審議する。	期 日	12月17日
					場 所	市役所 2C会議室
					内 容	スポーツ関係団体の補助金について 体力・スポーツ意識調査結果について
					参加者数	委員11名
					成果及び課題	専門的見地から御意見をいただいた。
11	伊勢原市国民健康保険運営協議会	保健福祉部 保険年金課	教育開発研究センター 森久保 俊満 准教授	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する。	期 日	①8月25日 ②11月26日 ③12月22日 ④1月27日 ⑤3月25日
					場 所	①市役所 第3委員会室 ②市役所 第3委員会室 ③市役所 第3委員会室 ④市役所 2C会議室 ⑤市役所 第3委員会室
					内 容	国民健康保険の財政運営状況の報告、 税率改定等の見直しの協議等
					参加者数	委員9名
					成果及び課題	専門的な見地から御意見等をいただいた。
12	伊勢原市子ども・子育て会議	こどもみらい部 こどもみらい課	児童教育学部 児童教育学科 及川 留美 准教授	子ども・子育て支援事業計画に関する進行管理、教育・保育施設等に関する事項を審議する。	期 日	①7月25日 ②1月30日
					場 所	①市役所 全員協議会室 ②市役所 こどもみらいプラザ2階会議室
					内 容	①第2期伊勢原市子ども・子育て支援事業計画の令和6年度実績等 ②令和8年度利用定員の設定・変更等
					参加者数	①12名 ②9名
					成果及び課題	専門的知見から御意見等をいただいた。
13	伊勢原市要保護児童対策地域協議会	こどもみらい部 こども家庭相談課	医学部付属病院 患者支援センター総 合相談室 細金 操 室長	子どもを守る地域ネットワーク構成員と連携強化を図り、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応について取り組む。	期 日	①7月4日 ②10月10日 ③2月13日
					場 所	シティプラザふれあいホール
					内 容	要保護児童対策地域協議会の令和6年度活動実績報告及び令和7年度取組方針等の協議
					参加者数	①22名 ②20名 ③17名
					成果及び課題	地域における医療機関の立場から専門的助言をいただいた。
14	伊勢原市都市計画審議会	都市部 都市政策課	建築都市学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	都市計画案件に関する審議等を行う。	期 日	①8月12日 ②11月11日
					場 所	市役所 全員協議会室
					内 容	①第8回線引き見直しに係る都市計画の変更について ②伊勢原都市計画生産緑地地区の変更について 他
					参加者数	①13名 ②11名
					成果及び課題	委員の委嘱と、都市計画の案等の事項に関して協議し、答申をいただいた。

15	伊勢原市空家等 対策協議会	都市部 建築住宅課	建築都市学部 建築学科 後藤 純 准教授	空家等対策計画の 作成及び変更並び に実施に関する協 議をする。	期 日	5月29日、10月28日、3月23日
					場 所	市役所 2C会議室
					内 容	空家等対策協議会
					参加者数	委員12名、事務局4名
					成果及び 課題	計画に基づく協議を行った。
16	伊勢原市下水道 運営審議会	土木部 下水道経営 課	観光学部 観光学科 西田 小百合 准教 授	受益者負担金、下 水道使用料、下水 道の運営について 審議するほか、下水 道事業の運営に関 する事項を調査・研 究する。	期 日	4月18日
					場 所	終末処理場2階 会議室
					内 容	令和7年度公共下水道事業会計当初予 算など
					参加者数	7名
					成果及び 課題	外部有識者による多角的な視点が加わ ることにより、より包括的な審議が可能に なった。
17	教育委員会委員	教育部 教育総務課	児童教育学部 児童教育学科 桑原 公美子 教授	教育委員として教育 委員会の会議に出 席し、教育行政全般 の重要事項に関し て審議等を行うほ か、市長が主催する 総合教育会議に出 席し、教育施策につ いて市長部局と協 議・調整を図る。	期 日	①教育委員会議 月1回(原則第4週火曜日又は金曜日) ②総合教育会議 12月19日(年1回)
					場 所	①市役所 議会委員会室等 ②市役所 議会全員協議会室
					内 容	①教育委員会の取組全般(学校教育、 社会教育及び歴史文化等) ②教育施策について市長部局と協議・ 調整
					参加者数	①各15名程度 ②約30名
					成果及び 課題	①専門的見地から御意見をいただいた。 ②同上
18	伊勢原市学校給 食運営審議会	教育部 学校教育課	児童教育学部 児童教育学科 神戸佳子 教授	学校給食の運営に 必要な事項につ き教育委員会の諮 問に応じて調査審 議し、その結果を 答申する。	期 日	①8月29日 ②11月17日
					場 所	①市役所 3A会議室 ②市役所 3B会議室
					内 容	学校給食費について
					参加者数	①委員6名 ②委員6名
					成果及び 課題	適正な学校給食費について審議を行っ た。

19	社会教育委員会 議	教育部 社会教育課	総合教育センター 資格教育センター 社会教育学系 古里 貴士 准教授	文化や体育の振 興、家庭教育支援、 公民館運営等の社 会教育全般につい て、社会教育委員 会議に出席して意 見を述べる。	期 日 ①5月30日 ②9月17日 ③1月28日 ④3月27日
					場 所 中央公民館 会議室A
					内 容 社会教育全般
					参加者数 各15名程度
					成果及び 課題 専門的見地から御意見をいただいた。
20	伊勢原市立子 ども科学館運 営協議会	教育部 図書館・子 ども科学館	理学部 化学科 藤尾 克彦 教授	子ども科学館の 円滑な運営を図 るために協議を する。	期 日 ①7月16日 ②1月22日
					場 所 伊勢原市立図書館会議室
					内 容 子ども科学館の運営についての協議
					参加者数 委員6名
					成果及び 課題 子ども科学館事業等について協議 いただいた。
21	伊勢原市図 書館協議会	教育部 図書館・子 ども科学館	総合教育センター 資格教育センター 学校教育学系 朝倉 徹 教授	図書館の円滑な 運営を図るため に協議をする。	期 日 ①7月11日 ②1月22日
					場 所 伊勢原市立子ども科学館会議室
					内 容 図書館事業についての協議
					参加者数 委員7名
					成果及び 課題 図書館事業について協議いた だくとともに会 長としてとりま とめいただいた。

(4) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和8年3月末日時点）
1	市民公開講座	保健福祉部 健康づくり課	医学部附属病院長 医学部 医学科 外科学系 渡辺 雅彦 教授	地域住民を対象とした公開講座を開催する。	期 日 9月6日
					場 所 東海大学伊勢原キャンパス 松前記念講堂
					内 容 肝疾患医療センター市民公開講座
					参加者数 82名
					成果及び課題 肝疾患の治療や食事、薬物療法について各分野の専門が講演し、患者や一般市民・医療従事者に向けて啓蒙活動を実施した。
2	東海大学健康クラブの運営事業	保健福祉部 スポーツ課	医学部 看護学科 吉川 隆博 教授	市民の体力・健康増進を図るため、年間を通して、全8回のスポーツ教室を3種目と看護・社会福祉・スポーツ運動講座を設け、市民の継続的な運動・スポーツ活動の展開を推進する。	期 日 5月31日～3月14日
					場 所 東海大学伊勢原キャンパス、武道館、市体育館
					内 容 ウィークデースポーツ教室(筋トレ、ヨガ、エクササイズ)、市民健康スポーツ大学(座学、運動)
					参加者数 ー
					成果及び課題 運動やスポーツ活動の場を提供し、市民の保健体育育成に寄与した。
3	子育て応援ボランティア(ファミリー・サポート・センター支援会員、子育てサポーター)研修会・養成講座	こどもみらい部 こどもみらい課	医学部 看護学科 杉村 篤士 講師	地域全体で子育てをサポートする人材の養成・育成を図るための講座を開催する。	期 日 10月17日
					場 所 市役所分庁舎2階 会議室
					内 容 小児看護の基礎知識
					参加者数 19名
					成果及び課題 新規ファミリー・サポート・センター支援会員及び子育てサポーターの研修会・養成講座並びに既存会員に対するスキルアップ研修を実施した。
4	市民のための図書館教養講座	教育部 図書館・子ども科学館	文化社会学部 文芸創作学科 石田 千 教授	市民の読書意欲や知的探究心の向上を図るとともに、社会教育施設として生涯学習の普及啓発を図るため教養講座を開催する。	期 日 11月29日
					場 所 伊勢原市立図書館AVホール
					内 容 俳句から、はじめよう
					参加者数 定員54名
					成果及び課題 5・7・5で自分の記憶や気持ちを表現する楽しさを教えていただいた。

(5) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和8年3月末日時点）
1	道灌まつりポスターデザイン	経済環境部 商工観光課	教養学部 芸術学科 熊谷 慶 助教	東海大学の学生による道灌まつりのポスターデザインを行う。	期 日 6～8月末
					場 所 教養学部 芸術学科 熊谷ゼミ内
					内 容 道灌まつりのポスターデザイン、のぼり旗のデザイン制作
					参加者数 7名
					成果及び課題 7名7作品の中から1作品を選定し、まつりのプログラム及びポスターデザインに起用したほか、広告協賛の1つであるのぼり旗のデザインとしても活用した。
2	TOKAIグローバルフェスタ湘南マールシェ出店	経済環境部 商工観光課	学長室総務・地域連携担当 TOKAIグローバルフェスタ2025実行委員会	東海大学湘南キャンパスに特産品を販売・PRするスペースを開設し、伊勢原市の魅力や情報を発信する。	期 日 10月11日
					場 所 東海大学湘南キャンパス
					内 容 伊勢原の特産品を販売・日本遺産大山詣り体験
					参加者数 —
					成果及び課題 来場者に特産物をPRする機会となった。
3	「大山詣り」ならではのプランの協力依頼	経済環境部 商工観光課	国際学部 国際学科	留学生、短期留学生に向けて任意参加型の体験プログラムとして周知を進める。 留学生に限らず、学科単位で実施されるゼミ合宿やフィールドワークについてもあわせて周知を行う。	期 日 12月8日
					場 所 東海大学湘南キャンパス
					内 容 「大山詣り」ならではのプランの説明、販売
					参加者数 —
					成果及び課題 学生向けのチラシを作成し、関係ゼミや学科にチラシを配架する機会となった。

(6) 大学の学術研究における行政情報の提供に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和8年3月末日時点）
----	-----	-------	------------	------	--------------------

該当なし

(7) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和8年3月末日時点）
1	東海大学孺恋高原研修センター施設利用	企画部 経営企画課	理事長室 総務担当	群馬県吾妻郡孺恋村にある「東海大学孺恋高原研修センター」について、伊勢原市民が東海大学関係者と同じ割引価格で利用できる。	期 日 通年 場 所 東海大学孺恋高原研修センター 内 容 市民等の申込により、センターの宿泊場所及び付随施設を提供する。 参加者数 大人2名 成果及び課題 市HP及び広報いせはらにて周知しているが、施設の利用についての認知度が低い。
2	2025年度東海大学医学部解剖慰霊祭	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	事務部事務課(総務)	東海大学医学部解剖慰霊祭について、市民文化会館を使用し、実施する。	期 日 10月16日 場 所 市民文化会館大ホール 内 容 解剖慰霊祭 参加者数 400名 成果及び課題 施設の相互利用に係る協力のもと、解剖慰霊祭が市民文化会館において開催された。
3	SPRING CONCERT	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	東海大学吹奏楽研究会	東海大学吹奏楽研究会SPRING CONCERTについて、市民文化会館を使用し、実施する。	期 日 4月6日 場 所 市民文化会館大ホール 内 容 東海大学吹奏楽研究会によるコンサート 参加者数 400名 成果及び課題 施設の相互利用に係る協力のもと、SPRING CONCERTが市民文化会館において開催された。
4	SUMMER CONCERT	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	東海大学吹奏楽研究会	東海大学吹奏楽研究会SUMMER CONCERTについて、市民文化会館を使用し、実施する。	期 日 7月6日 場 所 市民文化会館大ホール 内 容 東海大学吹奏楽研究会によるコンサート 参加者数 1000名 成果及び課題 施設の相互利用に係る協力のもと、SUMMER CONCERTが市民文化会館において開催された。
5	AUTUMN CONCERT	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	東海大学吹奏楽研究会	東海大学吹奏楽研究会AUTUMN CONCERTについて、市民文化会館を使用し、実施する。	期 日 11月9日 場 所 市民文化会館大ホール 内 容 東海大学吹奏楽研究会によるコンサート 参加者数 800名 成果及び課題 施設の相互利用に係る協力のもと、AUTUMN CONCERTが市民文化会館において開催された。
6	伊勢原市立図書館と東海大学図書館の相互利用協定	教育部 図書館・子ども科学館	学長室(図書館担当)	市民と東海大学職員・学生の図書館の相互利用を行う。	期 日 随時 場 所 伊勢原市立図書館及び東海大学付属図書館 内 容 東海大学付属図書館の資料の貸出 参加者数 0名 成果及び課題 東海大学付属図書館は、8月4日より学外利用を再開(有料会員のみ)。

7	2025年度東海大学医学部医学科 白衣授与式	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	医学部	東海大学医学部医学科白衣授与式について、市民文化会館を使用し、実施する。	期 日	9月26日
					場 所	市民文化会館大ホール
					内 容	白衣授与式
					参加者数	250名
					成果及び課題	施設の相互利用に係る協力のもと、白衣授与式が市民文化会館において開催された。
8	2025年度東海大学医学部医学科 学位記授与式	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	医学部	東海大学医学部医科学学位記授与式について、市民文化会館を使用し、実施する。	期 日	3月25日
					場 所	市民文化会館大ホール
					内 容	学位記授与式
					参加者数	200名
					成果及び課題	施設の相互利用に係る協力のもと、学位記授与式を市民文化会館において開催した。
9	【新規】 2025年度第3回 東海大学医学部 付属病院がんセミナー 市民公開講座 がん検診—早期 発見・早期治療で 笑顔を守ろう—	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	医学研究科	東海大学医学部付属病院がんセミナー市民公開講座について、市民文化会館を使用し、実施する。	期 日	1月31日
					場 所	市民文化会館大ホール
					内 容	東海大学医学部付属病院がんセミナー市民公開講座
					参加者数	150名
					成果及び課題	施設の相互利用に係る協力のもと、がんセミナーを市民文化会館において開催した。

(8) その他

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和8年3月末日時点）
1	【新規】 学校法人東海大学 建学83周年記念式典における 市長出席	企画部 経営企画課	理事長室 総務担当	市と本学との交流を 深めるとに、協働 活動による協力関係 を推進する。	期 日 11月1日 場 所 東海大学湘南キャンパス2号館大ホール 内 容 建学記念式典開催にあたり、市長から祝 辞を述べた。 参加者数 — 成果及び 課題 —
2	【新規】 東海大学伊勢原 キャンパス1号館 耐震化推進事業 (仮称)新1号館 他新築工事地鎮 祭への市長出席	企画部 経営企画課	病院本部 病院運営企画室	市と本学との交流を 深めるとに、協働 活動による協力関係 を推進する。	期 日 11月4日 場 所 東海大学伊勢原キャンパス(仮称)新1号 館建設予定地 内 容 地鎮祭開催にあたり、市長から祝辞を述 べた。 参加者数 — 成果及び 課題 —
3	伊勢原市デジタル 移動通信シス テム連絡協議会	企画部 危機管理課	事務部事務課(総務) 齋藤 祐佳 係長	デジタル移動通信シ ステムの管理及び運 用基準について確 認を行う。	期 日 5月19日 場 所 書面開催 内 容 デジタル移動通信システムの運用等確 認 参加者数 14名 成果及び 課題 防災技術及び知識を向上させることがで きた。
4	伊勢原市総合防 災訓練①	企画部 危機管理課	事務部事務課(総務) 齋藤 祐佳 係長	災害時応援協定に 基づく災害時医薬 品の調達、災害時 医薬品の搬送につ いて、総合防災訓練 を通じて、役割分担 等の確認を行う。	期 日 1月25日 場 所 東海大学医学部付属病院、大田小学校 ほか 内 容 災害時医薬品の調達・搬送訓練 参加者数 数名 成果及び 課題 関係機関との連携体制も強化できた。
5	【新規】 伊勢原市総合防 災訓練②	企画部 危機管理課	情報理工学部 情報メディア学科 内田 理 教授	市では初めての試 みとなる総合防災 訓練に合わせて、被災 者情報等一元管理 できる東海大学が開 発するアプリ(災害 時の情報共有シス テム)を活用した実証 実験・操作訓練等 を行う。	期 日 1月25日 場 所 東海大学医学部付属病院、大田小学校 ほか 内 容 災害時の情報共有システム実証実験・操 作訓練 参加者数 数名 成果及び 課題 関係機関との連携体制も強化できた。
6	就業体験学生(イ ンターンシップ)実 習事業	総務部 職員課	政治経済学部 政治学科 原田 悠希 講師	行政に参加する機 会と情報を学生に提 供する。	期 日 8月4日～8月8日 場 所 市役所ほか 内 容 各所属における行政実習体験 参加者数 2名 成果及び 課題 地域の大学と連携した人的資源の活用 が図られた。

7	【新規】 令和7年度伊勢原市職員採用試験「学校推薦枠試験」における推薦依頼	職員課	東海大学 キャンパスライフセンター (キャリア担当) 課長 朝賀 洋輔 様	伊勢原市と包括的協定を結んでいる大学を対象に、学校推薦枠試験を行い、学生生活での取り組みや成績が評価される仕組みを作ること で、優秀な人材を確保することを目的する。	期 日 11月～2月 場 所 伊勢原市役所(試験会場) 内 容 職員採用試験の実施 参加者数 5名 成果及び課題 5名の学生を採用とした。
8	伊勢原市平和史料収集事業	市民生活部 市民協働課	文化社会学部 広報メディア学科 水島 久光 教授	①平和史料収集事業(平和史料展示、史料のデータベース化、平和ドキュメンタリー映像制作等)の実施に向けて、事業の進め方への協議をすとも、撮影等については学生に協力してもらう。 ②中学生ヒロシマ平和の旅と平和を祈念するパネル展示を監修してもらい、中学生平和学習事業及び市民への平和啓発事業をより実効性あるものとする。	期 日 【中学生ヒロシマ平和の旅】 8月5日・6日 【平和を祈念するパネル展示】 8月22日～24日 場 所 【中学生ヒロシマ平和の旅】広島市内 【平和を祈念するパネル展示】 市民文化会館展示室1・2 内 容 【中学生ヒロシマ平和の旅】 コース設定や現地での講義等を通して「教科書だけでは分からない戦争の実相」を市内中学生に伝えていただいた。 【平和を祈念するパネル展示】 展示内容の監修及び内容説明を参加者に対して行っていただいた。 参加者数 【中学生ヒロシマ平和の旅】 市立中学校3年生8名、随任教諭2名、水島研究室5名 【平和を祈念するパネル展示】 来場者363名 成果及び課題 市民の平和意識の啓発に向け、教授に展示や旅の監修及び説明をしていただくことで、平和の尊さ・戦争の悲惨さへの理解を深めることができた。戦争体験者から直接話しを聴くことが困難になってきた中で、戦争を体験していない世代にいかん平和の尊さを伝え、語り継いでいくかが今後の課題である。
9	治験審査委員会 (病院主催)	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 治験審査委員会	治験に先立って治験の安全性と理論性の審査を行う。	期 日 月1回実施 場 所 オンライン開催 内 容 治験薬審査 参加者数 審査委員16名(市は1名) 成果及び課題 治験審査が適正に行われた。
10	神奈川県ドクターヘリ運航調整委員会 (病院主催)	保健福祉部 健康づくり課	ドクターヘリ運行調整委員会委員長 高度救命救急センター 守田誠司 所長 医学部付属病院長 医学部医学科 外科学系 渡辺 雅彦 教授	ドクターヘリの効果的かつ安定的な運行に必要な諸機関の調整・広報・調査及び検証を行う。	期 日 8月6日 場 所 東海大学医学部付属病院 1号館2階 第1会議室 内 容 神奈川県ドクターヘリ運航実績報告等 参加者数 ー 成果及び課題 ドクターヘリ事業の検証等を行った。
11	【新規】 大山登山マラソン大会ロゴ作成	保健福祉部 スポーツ課	教養学部 芸術学科 池村 明生 教授 熊谷 慶 助教 各ゼミ生	東海大学芸術学科の学生の知識を生かした大山登山マラソン大会の大会ロゴデザインを行う。	期 日 7月11日～10月30日 場 所 東海大学 内 容 市制55周年を記念し、大会ロゴマークを新規に作成 参加者数 9名 成果及び課題 選定委員会を開催し、市制55周年にふさわしい1作品を選出した。

12	伊勢原市スマートモビリティ社会に向けたまちづくりの構想に関する研究会	都市部 新産業拠点 整備課	建築都市学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	近未来のスマートモビリティ社会に向けたまちづくり構想骨子案に基づき、産官学連携による具体の取組方策の検討等を進める。	期 日	①10月21日 ②1月26日 ③3月3日
					場 所	市役所 全員協議会室 他
					内 容	①今年度の検討課題について 他 ②対象地区のまちづくりコンセプトについて 他 ③今年度の取りまとめ 他
					参加者数	①13名 ②13名 ③13名
					成果及び課題	豊富な知見により議論にご助力いただくとともに、まちづくり基本計画素案の作成に寄与いただいた。
13	伊勢原市教育委員会点検評価(外部有識者による意見)	教育部 教育総務課	文学部 歴史学科 考古学専攻 有村 誠 教授	教育委員会所管事業の点検評価について、外部有識者の視点から意見を述べる。	期 日	8月19日
					場 所	市役所 第2委員会室
					内 容	教育委員会所管の令和6年度事業に対する点検評価
					参加者数	各15名程度
					成果及び課題	専門的見地から御意見(書面)をいただいた。
14	伊勢原市立小中学校の望ましい学校規模等に関する在り方検討会議	教育部 教育総務課	総合教育センター 資格教育センター 学校教育学系 朝倉 徹 教授 建築都市学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	伊勢原市立小学校及び中学校の適正規模及び適正配置について検討を行う	期 日	①5月9日 ②6月10日 ③7月11日 ④10月23日 ⑤1月22日
					場 所	市役所 議会委員会室等
					内 容	伊勢原市立小学校及び中学校の適正規模・適正配置の検討
					参加者数	各30名程度
					成果及び課題	専門的見地から御意見をいただいた。
15	養護実習	教育部 学校教育課	医学部 看護学科 井上 玲子教授	教育実習生受入依頼を受けた場合、市内中学校が直接受入れを行う。	期 日	5月～6月
					場 所	伊勢原小学校、大山小学校、緑台小学校、成瀬中学校
					内 容	養護教諭教育実習
					参加者数	4名
					成果及び課題	養護教諭の職務を実践的に学ぶ場を提供できた。
16	ショートインターンシップ	教育部 学校教育課	児童教育学部 児童教育学科 前田 晶子 教授	インターンシップ受入依頼を受けた場合、市内小学校が直接受入れを行う。	期 日	5月～7月
					場 所	石田小学校
					内 容	6日間の見学・体験
					参加者数	1名
					成果及び課題	大学4年生が出身地での見学・体験を行う場を提供することができた。

17	学校体験活動	教育部 学校教育課	児童教育学部 児童教育学科 前田 晶子 教授	学校体験活動受入依頼を受けた場合、市内小学校が直接受入れを行う。	期 日	6月
					場 所	大田小学校、桜台小学校
					内 容	5日間の見学・体験
					参加者数	10名
					成果及び課題	大学2年生が見学・体験を行う場を提供することができた。
18	いせはらスクール・ボランティア	教育部 学校教育課	医学部 看護学科 井上 玲子教授	ボランティア活動受入依頼を受けた場合、市内小中学校が直接受入れを行う。	期 日	2月～3月
					場 所	—
					内 容	保健室業務の手伝い
					参加者数	—
					成果及び課題	—
19	【新規】 異文化理解講座	教育部 学校教育課	総合教育センター 語学教育センター 留学生支援教育学系 田口 香奈恵 教授	留学生が小学校を訪問し、母国の文化を紹介しながら子ども達と交流を持つ活動。	期 日	11月17日
					場 所	大山小学校
					内 容	留学生7名の国の紹介、全体での交流等
					参加者数	27名
					成果及び課題	留学生を通して、子ども達が外国の文化を身近に感じることができた。低学年の児童にも機会があれば体験させたい。
20	学校訪問教育相談研修会	教育部 教育センター	医学部 医学科 専門診療学系 高橋 有記 講師 文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	市内小中学校において、精神科医、臨床心理士などの専門家を講師に招き、事例検討会を行う。	期 日	①6月5日②7月24日③8月28日④9月22日⑤11月18日
					場 所	各小中学校
					内 容	不登校や多動等、集団生活にうまく適応できない児童生徒についての事例研究・情報交換等
					参加者数	各回20名～40名程度
					成果及び課題	専門的な見地から児童生徒の理解を深める機会となった。
21	ハートフルフレンド活用事業	教育部 教育センター	総合教育センター 資格教育センター 学校教育学系 朝倉 徹 教授	話し相手がない、仲間に入りづらい、集団活動に適応しにくい等の児童生徒を対象に、友人、家庭関係及び学習についてなどの心配事を気軽に相談したり、話を受け止めたりすることができるハートフルフレンドとして学生ボランティアを配置し、教育相談の充実を図る。	期 日	通年
					場 所	市内小中学校
					内 容	話し相手がない、仲間に入りづらい等の児童生徒を対象に、話し相手、遊び仲間又は学習支援者として活動
					参加者数	3名
					成果及び課題	学生にボランティア活動を行う機会を提供できた。

22	東海学級連絡協議会	教育部 教育センター	医学部 医学科 総合診療学系 小池 隆志 講師 金子 綾太 助教 事務部事務課(総務) 笠原 勝幸 課長	東海学級(院内学級)の管理・運営及び伊勢原市教育委員会と東海大学医学部付属病院との連絡・調整を行う。	期 日	①5月13日②11月7日③2月(書面開催)
					場 所	東海大学医学部付属病院
					内 容	東海学級での活動報告を通じた様子確認、情報交換
					参加者数	15名程度
					成果及び課題	東海学級の管理・運営について共通理解が促進され、東海学級の円滑な運営を図ることができた。
23	教育支援教室 スーパービジョン	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	様々な課題を抱えた子どもたち、その家族に対して専門的に接するには、知識・経験・人格・コミュニケーションの技術が必要であるため、適応指導教室に携わる職員の技術・人間性の向上のために、スーパーヴァイザーによる指導を仰ぐ場とする。	期 日	12月5日
					場 所	教育支援教室「やまどり」
					内 容	事例検討
					参加者数	7名
					成果及び課題	教室に通室する児童生徒の理解と対応を深める機会となった。
24	教育支援教室実習	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授 山田 幸恵 教授	教育センターと大学院側双方のそれぞれのねらいを達成することを目的に教育センター・教育支援教室において実習を行う。	期 日	春学期(上半期)、秋学期(下半期)
					場 所	教育支援教室「やまどり」
					内 容	公認心理師・臨床心理士養成にかかる大学院生への実習指導
					参加者数	3名
					成果及び課題	教育支援教室通室児童生徒への適切な関わりを通じ教室のより良い運営を図ることができた。
25	教育センター・教育支援教室施設見学実習	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 菅沼 真樹 准教授 中島 由宇 准教授 田中 将司 講師	公認心理師養成にかかる「心理実習」を受け入れる。	期 日	6月17日
					場 所	教育センター
					内 容	公認心理師養成にかかる学部4年生への実習指導
					参加者数	4名
					成果及び課題	心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解の獲得に寄与した。
26	社会教育実習	教育部 社会教育課	総合教育センター 資格教育センター 社会教育学系 古里 貴士 准教授	社会教育主事課程の一環として、実習受入依頼を受けた場合、社会教育課が直接受入れを行う。	期 日	実習1:1月15日 実習2:7月23日～11月6日のうち40時間
					場 所	実習1:子ども科学館 ほか 実習2:中央公民館 ほか
					内 容	実習1:施設見学、職員による職業講話 実習2:社会教育課事業に従事
					参加者数	実習1:学生13名、古里准教授 実習2:学生1名
					成果及び課題	社会教育施設の役割や機能への理解を深めた。